

「何のために生まれて、何をして生きるのか」

校長 杉岡 りか

今年の夏も例年以上の猛暑が続きました。これは一時的な天候の変化ではなく、地球温暖化の影響が年々深刻になっていくことの表れでもあります。子どもたちが安心して過ごせる未来のために、私たちも環境への配慮や持続可能な社会づくりについて、改めて考える必要があります。

そんな暑さの中でも、子どもたちは夏休みに様々な経験を重ね、元気に登校してきてくれました。その笑顔やたくましさ、私たちも大きな力をもらっています。

さて、最近放送されているNHKの連続テレビ小説「あんぱん」の中で、こんな印象的な言葉がありました。

「わしは、おまんらに『あんとき、ああしちよったらよかった』と悔いてほしゅうないがじゃ。何のために生まれて、何をしながら生きるのか。見つかるまでもがけ。必死でもがけ。」

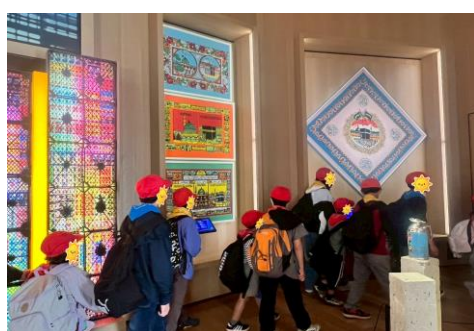
これは、将来の自分の生き方に迷う主人公とその弟に向けて父親が放った言葉です。私も全く同感です。子どもたちには、「今できること」「今しかできないこと」を思いっきりやってほしいと思っています。子どもたちにとっても「自分らしさ」や「生きる意味」を見つけるのは簡単なことではありません。でも、今の一歩一歩がきつとその答えにつながっていきます。

勉強でも、運動でも、人との関わりでも、思うようにいかないこともあるでしょう。でも、「もがく」ことをやめなければ、必ず何かが見えてきます。一人ひとりが自分のペースで進んでいきながら、それぞれの夢をつかんでほしいと思っています。

また、二学期は行事も多く、学年をこえて協力する機会も増えてきます。「自分のため」だけでなく、「周りの誰かのため」に動ける子どもが増えていくことを願っています。そして、そんな子どもたちの姿を、私たち大人も見習っていきたいと思っています。保護者・地域の皆様には、いつも温かく見守っていただき、心より感謝申し上げます。今学期もどうぞよろしくお願いいたします。

大阪・関西万博へ

四月二十三日と二・五年生が、五月七日に一・六年生が、大阪・関西万博へ見学に行きました。それぞれきょうだいで学年でペアになり、仲良くパビリオンをまわりました。子どもたちは様々な展示に興味をもち、楽しそうでした。次は、三・四年生が九月二十二日に見学に行きます。



じんけん作品

一学期に、大正小学校の人権目標「あなたもだいじ わたしもだいじ みんなちがって みんないい」のもと、それぞれの学年で、さまざまな人権について学習しました。学習のまとめとして、学んだことをそれぞれの学年が、作文や詩、標語や絵で表現しました。

毎日の生活の中で、自分らしく、楽しく、自信をもって生きることができるように、そして、ひとりひとりの願い、思いを大切にできるように、何ができるか、何を大切にすべきかを、仲間と対話しながら考えました。この学習を通して、あたたかい、安心できる、高め合える、そのような大正小学校になればと思います。

◎各学年の取り組み

- ・一年 なかまづくり
「みんながえがおになるために」
- ・二年 いのちについて考えよう
「生きているからできること」
- ・三年 ジェンダー平等教育
「みんなちがってみんないい」
- ・四年 障がい者理解教育
「ともに生きるということ」
- ・五年 国際理解
「多様な文化の人が一緒に生きていくときに大切なこと」
- ・六年 平和な世界のために自分たちにできること